

# 1. 調査報告概要表

## [認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成20年5月14日

### 【評価実施概要】

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 事業所番号 | 2774600700                        |
| 法人名   | 有限会社 ロフティアイディール                   |
| 事業所名  | 高齢者福祉施設業月                         |
| 所在地   | 柏原市玉手町18番51号<br>(電話) 072-977-4165 |

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会              |
| 所在地   | 大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内 |
| 訪問調査日 | 平成20年4月23日                     |

### 【情報提供票より】(平成20年3月20日事業所記入)

#### (1) 組織概要

|       |           |        |                         |
|-------|-----------|--------|-------------------------|
| 開設年月日 | 平成18年3月1日 |        |                         |
| ユニット数 | 2ユニット     | 利用定員数計 | 18人                     |
| 職員数   | 24人       | 常勤     | 1人, 非常勤 23人, 常勤換算 14.5人 |

#### (2) 建物概要

|      |       |      |      |
|------|-------|------|------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り |      |      |
|      | 3階建ての | 2階 ~ | 3階部分 |

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

|                     |                 |                |       |   |
|---------------------|-----------------|----------------|-------|---|
| 家賃(平均月額)            | 42,000円         | その他の経費(月額)     | 円     |   |
| 敷金                  | 有(円) ②          |                |       |   |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | ① (300,000円)    | 有りの場合<br>償却の有無 | ① / 無 |   |
| 食材料費                | 朝食              | 円              | 昼食    | 円 |
|                     | 夕食              | 円              | おやつ   | 円 |
|                     | または1日当たり 1,400円 |                |       |   |

#### (4) 利用者の概要 (平成20年3月20日現在)

|       |        |      |     |    |     |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 14名    | 男性   | 5名  | 女性 | 9名  |
| 要介護1  | 0名     | 要介護2 | 5名  |    |     |
| 要介護3  | 3名     | 要介護4 | 4名  |    |     |
| 要介護5  | 2名     | 要支援2 | 0名  |    |     |
| 年齢    | 平均 80歳 | 最低   | 66歳 | 最高 | 94歳 |

#### (5) 協力医療機関

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 協力医療機関名 | 医療法人医真会 八尾総合病院、松原クリニック |
|---------|------------------------|

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地元で育った施設長は、祖父母の介護への思いから、地域の介護保険状況を調査しグループホームを開設しました。「地域・向上・伝心・信頼」を理念に掲げて運営しています。ホームは、デイサービスとの合築で3階建ての2・3階部分に位置しています。石川に掛かる玉手橋の近くにあるホームは、川沿いの堤防に季節折々の風景を楽しむことができる環境です。開設当初は職員の離職が続きましたが、最近は少しずつ体制が整ってきています。今後、更に利用者・家族の望む個別支援に向けたサービス提供が期待されます。

### 【重点項目への取り組み状況】

|       |  |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)<br>開設後、はじめての外部評価受審です。   |
|       | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)<br>管理者と職員は、外部評価の意義を理解し、項目を共に検討し、自己評価票を作成しています。   |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)<br>運営推進会議は、家族や市の地域包括支援センター、市の高齢福祉課職員の参加を得て、2ヶ月に1回開催されています。次回からは民生委員の参加も予定されています。家族の要望や会議で出された意見については、職員会議で検討し業務に反映するように努めています。インターホンについても希望があり設置されました。また、要望ノートも作成しています。 |
|       | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)<br>毎月便りを発行し、利用者の生活状況や行事の報告をしています。金銭管理は、個別の出納帳を作成し、領収書と共に毎月家族に送付しています。家族の意見や苦情は真摯に受け止め対応しています。   |
| 重点項目③ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)<br>運営推進会議を開催することにより、少しずつ地域との交流が始まりました。グループホーム玄関先のベンチは、地域の高齢者が通院などの帰りにひと休みする場になっています。ボランティアや地域住民との交流、学校行事や老人会への参加など、ホーム側から積極的に働きかけることが今後の課題です。   |

## 2. 調査報告書

(        部分は重点項目です)

| 外部                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|--------------------|----|---|--|----------------------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |    |   |  |                      |  |
| 1. 理念と共有           |    |   |  |                      |  |
| 1                  | 1  | ○ <b>地域密着型サービスとしての理念</b><br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | 施設長が生まれ育った地域での老人介護への思いを込め①「地域」地域と交流、共に歩み地域の皆様に貢献できる施設 ②「向上」常に向上心を忘れずよりよい介護サービスを提供できる施設 ③「伝心」介護の暖かさを伝えることができる施設 ④「信頼」誰もが安心して利用しやすい信頼ある施設 の4つの理念を掲げています。 |                      |  |
| 2                  | 2  | ○ <b>理念の共有と日々の取り組み</b><br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 理念は各フロアに掲示しています。朝夕の申し送りや勉強会で確認し、職員間で共有しています。   |                      |  |
| 2. 地域との支えあい        |    |   |  |                      |  |
| 3                  | 5  | ○ <b>地域とのつきあい</b><br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている | 運営推進会議を開催することにより、少しずつ地域との交流が始まりました。グループホーム玄関先のベンチは、地域の高齢者が通院などの帰りにひと休みする場になっています。地域住民との交流や老人会への参加など、ホーム側から積極的に働きかけることが今後の課題です。                         | ○                    | 日常的に地域へ散歩や買い物に出かけることで、地域住民との交流を図る機会になるのではないのでしょうか。保育園や学校、ボランティアなどの訪問の受け入れなどグループホーム側からの働きかけが求められます。 |

| 外部                    | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|-----------------------|----|---|---|------|---|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |   |   |      |   |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 管理者は、外部評価についての意義を職員に説明し、自己評価票は、職員も参加し作成しています。初めての外部評価であり、グループホームにどのようなことが求められているか理解する機会となっています。今後の運営に生かされることが期待されます。                |      |   |
| 5                     | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は、民生委員や家族、市の参加を得て、2ヶ月に1回定期的に開催し、記録を残しています。家族の要望や会議で出された意見については、職員会議で検討し業務に反映するように努めています。インターホンも希望があり設置されました。また、要望ノートも作成しています。 |      |   |
| 6                     | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。                  | 事故報告等は記録に残し、必要に応じて速やかに市へ報告をしています。また市の担当者には都度、相談をしています。  |      |   |
| 4. 理念を実践するための体制       |    |   |   |      |   |
| 7                     | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                 | 家族通信は、毎日の利用者の生活状況や行事の様子を個別に記録し、毎月発送しています。また金銭管理は、個別の出納帳を作成し預かり金の受取書発行や使用明細など、詳細を明記し領収書と共に毎月家族に報告しています。                              | ○    | 毎日の利用者の記録は、日誌に残されていますので、家族通信は写真などを取り入れ、視覚から楽しめるお便りの工夫をしてはいかがでしょうか。<br>金銭の報告について、家族が確認したことを示す署名押印、日付を書面に残すことが求められます。 |

| 外部          | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|-------------|----|--|--|------|---|
| 8           | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 家族の来訪時に要望や意見を聞くようになっています。運営推進会議は、家族の参加を依頼し、交流の機会となるよう心がけています。「こんなことをして欲しい」との希望カードや要望ノートを置き、運営へ反映できるよう努力しています。                                  |      |   |
| 9           | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の離職を最小限に抑えるために、職員のアンケート調査を実施するなどの努力をしています。   | ○    | 運営者は、管理者、職員との信頼関係を構築し、風とおしの良い働きやすい職場づくりに向けて業務整理を行うなどの努力が望まれます。運営者は、サービスの質確保のために、職員が定着するよう職場環境改善への努力が求められます。 |
| 5. 人材の育成と支援 |    |  |  |      |   |
| 10          | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 年6回以上の研修を実施し、外部研修へも参加しています。研修内容は、認知症、感染症対策、緊急時対応や職員のレベルに応じた、介護技術の研修も実施しています。また、参加職員は資料と共に記録に残し、伝達講習や資料閲覧ができるようにしています。今後は職員全員が回覧できるような工夫が望まれます。 |      |   |

| 外部 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                               | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----|---|---|------|-----------------------------------|
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 柏原市主催の交流会にも参加しています。交流会は開始されたばかりで、同業者との交流や職員間の研修は今後の課題となっています。 |      |                                   |

| 外部                          | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--|---|------|-----------------------------------|
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |    |  |   |      |                                   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応   |    |  |   |      |                                   |
| 12                          | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居時には、家庭訪問を実施し入居前の生活環境を把握し、入居後の生活に繋いでいます。体験入居も実施し、家族と相談しながら徐々に馴染めるように進めています。  |      |                                   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援   |    |  |   |      |                                   |
| 13                          | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている                          | 日常生活の中で、布団干しや料理や洗濯など利用者と共に行っています。今後更に、共に生活をする視点で、喜怒哀楽が自由に表現できるような関係作りが期待されます。 |      |                                   |

| 外部                             | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|--------------------------------|----|---|---|------|---|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント    |    |   |   |      |   |
| 1. 一人ひとりの把握                    |    |   |   |      |   |
| 14                             | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 利用者や家族から生活の意向を確認し記録に残しています。また、日常的な会話やふれあいの中で利用者の思いを聴取し、ケアに反映させています。誕生日に馴染みの喫茶店へ出かけ、ホームでは見られないような一面を発見する事もありました。更に、利用者の方の楽しみや生きがいになる情報を引き出し、記録に残しケアに繋がることを期待します。 |      |   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |    |   |   |      |   |
| 15                             | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 利用者、家族の意見を反映した介護計画書を作成し、家族等への説明を行った上で署名をもらっています。また、ケアカンファレンスは定期的実施しています。  | ○    | 介護計画とケア実施の整合性が不十分です。カンファレンスは実施していますが、職員が常にプランを意識しながら日々の記録に残す必要があります。介護計画は一緒に作り上げるものと認識し、ケアスタッフも利用者の生活歴や個性の情報を用紙に書き込むなどされることが求められます。 |
| 16                             | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画は、3ヶ月毎に利用者の状態や変化、要望に合わせて、利用者、家族と相談して見直しを行っています。アセスメント表、モニタリング、カンファレンスなど記録が整理されています。   |      |   |

| 外部                                     | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                      |
|--|----|---|--|------|--|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用） |    |   |  |      |  |
| 17                                     | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々<br>の要望に応じて、事業所の多<br>機能性を活かした柔軟な支援<br>をしている  | 本人や家族の状況に応じて、<br>提携医療機関以外への通院介<br>助も行っています。また、1階<br>にあるデイサービスと交流を<br>しています。  |      |  |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働             |    |   |  |      |  |
| 18                                     | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切<br>にし、納得が得られた、かか<br>りつけ医と事業所の関係を築<br>きながら、適切な医療を受け<br>られるように支援している                    | 一ヶ月に1回の内科往診や週<br>1回歯科の往診があり、必要<br>に応じて受診しています。往<br>診は利用者や家族の希望を<br>確認し、かかりつけ医療機<br>関希望の場合は、引き続き<br>かかりつけ医での医療が受け<br>られるように支援しています。 |      |  |
| 19                                     | 47 | ○重度化や終末期に向けた方<br>針の共有<br>重度化した場合や終末期のあ<br>り方について、できるだけ早<br>い段階から本人や家族等なら<br>びにかかりつけ医等と繰り返し<br>話し合い、全員で方針を共有<br>している | 利用者が重度化した場合の<br>対応については、入居時に説<br>明をしています。対応指針を<br>定めるまでには至っていません。  | ○    | 重度化した場合の対応指針を<br>定め、家族や医師・看護師を<br>交えての話し合いが求められ<br>ます。 |

| 外部                               | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|----------------------------------|----|--|--|------|--|
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |    |  |  |      |  |
| 1. その人らしい暮らしの支援<br>(1) 一人ひとりの尊重  |    |  |  |      |  |
| 20                               | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない               | 利用者への言葉かけや対応などについて、気になる事はありませんでした。個人情報の取り扱いは、雇用契約書に職員の秘密保持を義務付けています。   |      |  |
| 21                               | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入浴は、回数や時間など可能な限り利用者のペースを重視しています。食事場面は、利用者一人ひとりのペースを尊重した支援をしています。利用者の得意な事（例えば、きれい好きな方にトイレの掃除）をするなどの機会をつくる支援をしています。          |      |  |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援    |    |  |  |      |  |
| 22                               | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 食材は業者へ発注していますが、調理は職員と利用者が一緒に行っています。外食や誕生会は、利用者の好みを反映したメニューとなっています。食事の献立作成から食材の購入、調理の過程を通じて、できるだけ利用者が自主的にかかわれる雰囲気づくりを期待します。 | ○    | 1日のうち1食以上、職員は利用者と同じものを食べながら楽しい食事の雰囲気作りへの取り組みが求められます。職員と利用者が一緒に食事をする事の意味を職員間で話し合われてはいかがでしょうか。 |



| 外部                            | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--|---|------|-----------------------------------|
| 23                            | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している    | 利用者一人ひとりの習慣に合わせて、希望があれば毎日の入浴も可能です。最低でも、週に3回は入浴するよう働きかけています。   |      |                                   |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |  |   |      |                                   |
| 24                            | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 掃除や編み物、水遣りなど、利用者の生活歴から得意なこと、好みなどを聞き取り生活に取り入れています。更に日常生活の中で、楽しみや活躍の場面を引き出し、継続して取り組むことが期待されます。  |      |                                   |
| 25                            | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | 週に1～2日は外出しています。今後は更に日課として散歩コースを決め、天気の良い日は毎日戸外へ出かけ、地域交流や買い物などをされてはいかがでしょうか。利用者のみならず職員にも気分転換となります。外出を好まれない利用者にも、家族の協力を得ながら、週1回程度はホーム外へ出かける支援が望まれます。 |      |                                   |

| 外部                         | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|----------------------------|----|---|---|------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援            |    |   |   |      |  |
| 26                         | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                                    | 安全面から電子テンキーロックで施錠しています。   | ○    | 鍵が常に掛かっていることの弊害を職員間で話し合い、利用者の状況と合わせて、職員の人員が確保されている時間帯からでも開錠されることが求められます。ホームの構造上の難しさはありますが、利用者の自由な暮らしを守るためにも今後の取り組みが求められます。 |
| 27                         | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                                | 消防署に依頼し、5月に利用者も参加して避難訓練を実施する予定です。   | ○    | 災害時の具体的な避難策と災害時の非常食や備品の準備と管理が求められます。   |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |   |      |  |
| 28                         | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事摂取量と水分摂取量は、一日を通して把握し記録に残しています。また、業者によるカロリー計算と体重チェックを実施し、健康管理を考えた食事の提供をしています。  |      |  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |   |   |      |  |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |    |   |   |      |  |
| 29                         | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 台所用品や家具、食器類は自宅で使用していたものを持ち込んでいます。食堂兼居間は、食卓テーブルが置かれ、利用者の作品の展示やカレンダーがあります。共有スペースは、生活感ある装飾や食卓テーブル以外に、利用者が自由にくつろげる場所を設けるなどの工夫をしてみたいと思います。 |      |  |

| 外部 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----|---|---|------|-----------------------------------|
| 30 | 83 | <p><b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b><br/>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>居室は、ベッドと木製ロッカー、洗面台が備え付けてあります。利用者は、馴染みの家具、冷蔵庫、タンス、衣装ケース、テレビなどを自由に置いています。カーテンも利用者の好みのもを備え付け、馴染みのある生活空間になるように工夫しています。</p> |      |                                   |